

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社
株式会社フージャースコーポレーション

～商業・業務・文化等の都市機能の充実と、交通結節点として交通機能の充実を図る～
**「三郷駅前地区第一種市街地再開発事業」
事業協力に関する協定締結**

三菱地所レジデンス株式会社と株式会社フージャースコーポレーションは、愛知県尾張旭市の三郷駅前地区第一種市街地再開発事業（以下、本再開発事業）の事業協力者に選定され、2022年3月29日（火）、事業協力に関する協定を締結いたしました。

本再開発事業は、名鉄瀬戸線「三郷」駅南側の約1.1haを開発するもので、駅前広場、道路、オープンスペースなどの都市基盤と駅前立地を活かした、にぎわいを創出する商業施設、地域交流の核となる公共公益施設、まちなか居住を推進する都市型住宅などを一体的に整備することにより、交通結節機能の強化と拠点性の強化を図ります。



▲（後列左から）秋田誠三 会計担当理事、清州康友 副理事長、伊藤勝利 副理事長
（前列左から）小川栄一 フージャースコーポレーション社長、宮島正治 三菱地所レジデンス社長
秋田昌彦 理事長、森和実 尾張旭市長

■ 本再開発事業の概要

三郷駅周辺地域は、尾張旭市都市計画マスタープランにおいて、市の中核となる「活力拠点」として、商業・業務・文化等の都市機能の充実を図るとともに、市の重要な交通結節点として交通機能の強化を図ることとしています。

しかしながら、市街地の更新が進んでおらず、駅前広場、道路などの都市基盤の脆弱さや交通機能の不足、地域の商業活力の低下、建物の老朽化など多くの課題を抱えており、課題解決のため、地元を中心に三郷駅を核とした一体的な街づくりの検討が 2010 年頃より開始されました。その後 2013 年に街づくり協議会が発足、駅の南街区では市街地再開発事業を進めるため、2019 年 12 月に「三郷駅前地区市街地再開発準備組合」を設立しました。

本再開発事業は、南街区の市街地再開発事業として、商業施設、公共公益施設、共同住宅、広場の整備などを一体的に進めてまいります。

<事業概要>

事業名称	三郷駅前地区第一種市街地再開発事業
所在地	愛知県尾張旭市三郷町栄 48 他
施工予定区域面積	約 1.1ha
地域・地区	商業地域、防火地域、高度利用地区、都市機能誘導区域
スケジュール	2021 年 8 月 駅前広場を含む市街地再開発事業の都市計画決定 2022 年度末（予定） 市街地再開発組合設立認可・事業計画認可 2023 年度末（予定） 権利変換計画認可 2024 年度～2027 年度末（予定） 解体工事着工～竣工

■ まちづくりコンセプト

まちづくりコンセプトは、「人・緑・時代との共存」。尾張旭市の顔となる駅前拠点の創出を目標とします。

- ひと ◇イベント等の多様な利用が可能な空間
◇多様な世代が利用可能な地域交流施設
- 緑 ◇緑豊かな広場空間
◇緑・広場空間に開けた店舗配置
- 時代 ◇誰もが安心して利用できる憩いの空間
◇地域の核となるコミュニティ拠点施設

■ 尾張旭市の特徴

尾張旭市は名古屋市の中心部から直線距離で 15 キロ、愛知県の北西部に位置し、名鉄瀬戸線「栄町」駅から約 20 分の距離。名古屋市のベッドタウンとして人口が増加し、住宅都市として発展してきました。

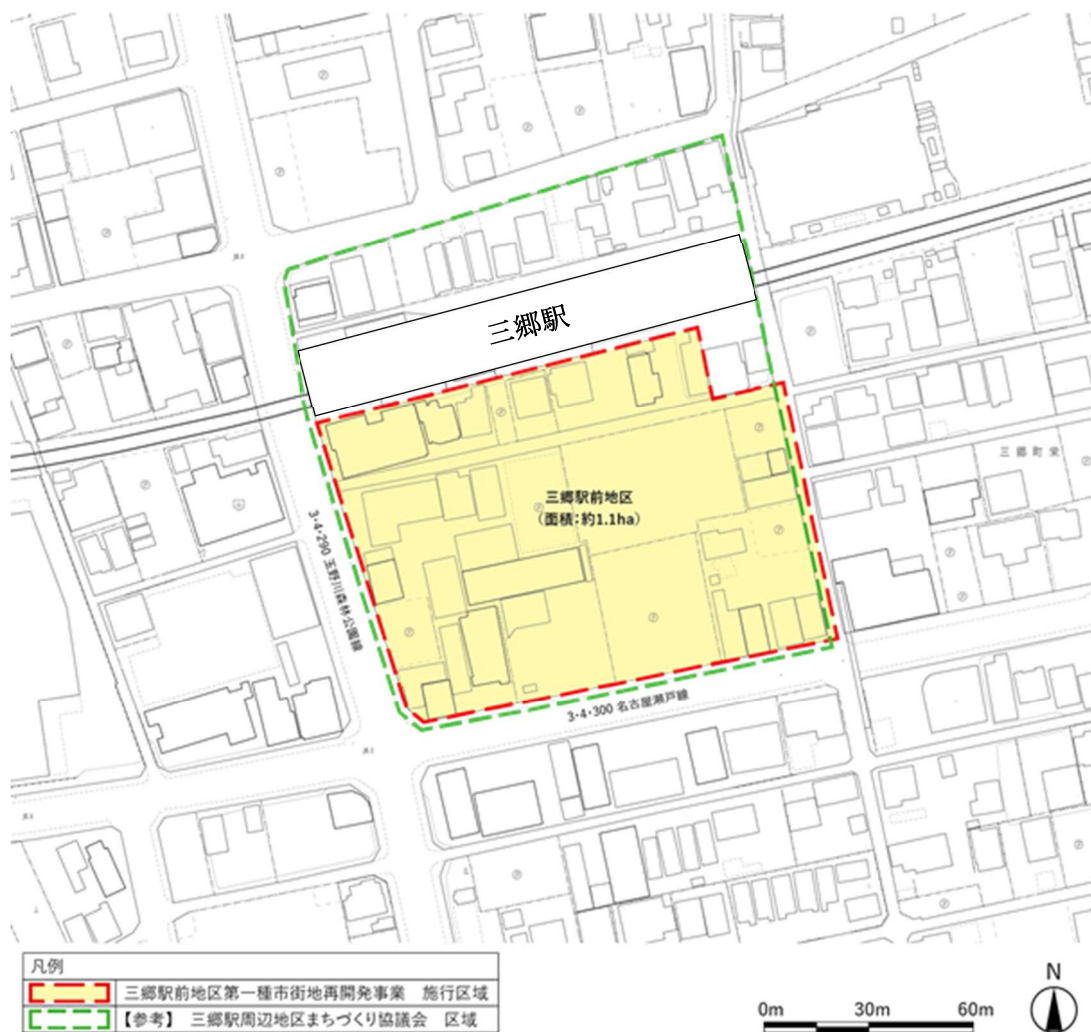
大都市近郊にありながらも、市の北部を中心にため池や緑地が点在し、北東部には「森林浴の森日本 100 選」に選ばれた愛知県森林公園が広がる、緑と水が多い街です。

2004 年には、WHO（世界保健機構）西太平洋地域健康都市連合に参加し、同年「健康都市宣言」を行いました。

尾張旭市は、利便性と豊かな自然を兼ね備えた、住みやすい街として現在も発展を続けています。

以 上

■ 施設配備ゾーニング



■ まちづくりのイメージパース



※現時点の検討案であり、今後の検討・協議により変更となる可能性があります。